

河村たかしの目指す新しい民主党政治は、

自民党政治とは質的に異なる

自民党政治（従来型政治）と新しい民主党のどちらが、将来の日本を担うに相応しいか？	
自民党政治（従来型政治）のイメージ	民主党政治（新しい政治）のイメージ
議員天国	議員はパブリックサーバント（公僕）
議員の特権身分化（歳費・政党助成等税金を食む）	議員の民営化（個人献金中心の活動）
議員は平安貴族（前例踏襲、世襲、年功序列）	議員は武士（イノベーション、公選、実力主義）
党・国会のありかた	
党部会決定	議会・委員会審議で決定、部会廃止（任意化）
党内一融和重視で、部会長や政調会長に一任	百家争鳴、活発な議論
党議拘束強化	党議拘束撤廃（議員の自立・自主判断尊重）
国会サラリーマン（党人として素直な人材）	個性的議員（国民代表、議会人に相応しい人材）
選挙は党で選ぶ（候補者の個性も公約も重要ではない）	選挙は候補者で選ぶ（候補者の人品、社会観、個人の政策が重要）
国会内も行政内（閣内・政府内）も一致	行政内（閣内・政府内）のみ一致すればよい
党首理念といえども全員一致が必要（議員立法には会派の承認を要する）	党首理念は即立法可能（国会法の制限のみ、会派の承認不要）
議会（国会）審議の空洞化	議会（国会）審議の復権
みせかけ行政改革（行政との馴れ合い、用心棒化）	議院改革、行政改革（行政との対峙、行政監視）
国家・社会のありかた	
中央集権	地域主権
管理国家（エリートが正しい道を決定「愚民思想」）	自由国家（国民はエリートが思うよりずっと賢い）
補助金政治（いったん税金として集め、それを補助金として分配するのが権力の源）	寄付金への転換（寄付税制の充実で、国民に用途の選択権を、NPOの爆発的普及へ）
増税志向（おカネの使い方は国家が決める）	減税志向（おカネの使い方は国民が決める）
政府機能・官営ビジネスの肥大化（大きな政府）	政府機能の縮小、官業の市場化（小さな政府）
天下り天国（所管官庁の許認可で公益法人独占）	自立的地域活動（NPOの大開花）
公務員になりたくなる国	商売をやりたくなる国
身分社会（格差拡大社会、機会の不平等な社会）	平等社会（再挑戦可能、機会の平等な社会）
努力が報われず、社会の活力低下	努力が報われ、活力ある社会
土下座外交（戦争の総括ウヤムヤにしたまま、その場しのぎの連続）	日本の自立（失政を国民に詫び、正しく総括。筋を通すことが尊敬される国家への道）